

## 市民フォーラム

# サステナビリティ水産科学の理論と実践

～あなたがいるから、私も生きていける～



## 11月9日 (火)

開始9:30, 終了17:00予定

函館地域交流

まちづくりセンター2階

参加無料

地球温暖化時代をむかえ、未来の子供たちにどのように海と食を持続的に守っていったらよいのでしょうか？明日の海のサステナビリティ(持続可能性)の学問と実践をどのように進めるか考えます。関心をもつ市民、学生、企業、研究者の皆様の参加をお待ちしております。

キーワード:

食, 海, フード・マイレージ, エコラベル, 食料トレーサビリティ, 地球温暖化

### 基調講演

ウッシフ・スメイラ(カナダ ブリテッシュ・コロンビア大学水産学センター所長)

井田徹治(共同通信社 科学部編集委員)

### サステナビリティ水産科学の実践に関する講演

エンダイ・コンタラ(インドネシア養殖研究所所長)

永田光博(道総研 さけます内水面水産試験場 部長)

北田修一(東京海洋大学 教授)

ラディアータ・イニヨマン(北大院 水産科学研究院 学術研究員)

函館烏賊太郎(東北大学@学部 教授?)

石村学志(北大 サステナビリティ学教育研究センター 助教)

### 主催

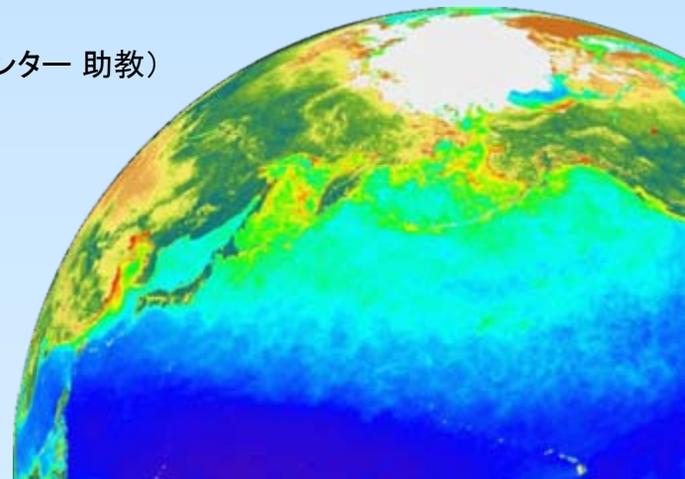
北海道大学大学院水産科学研究院

日本学術会議

### お問合せ先

E-mail: [salmon@fish.hokudai.ac.jp](mailto:salmon@fish.hokudai.ac.jp)

Tel: 0138-40-5605





## 特別講義 *Special Lecture*

**Daniel Pauly** (Prof. University of British Columbia)

### "Present trends and the future of fisheries"

ダニエル・パウリー (教授 ブリテッシュ・コロンビア大学 水産学センター元所長)  
「世界の水産の現状と将来」

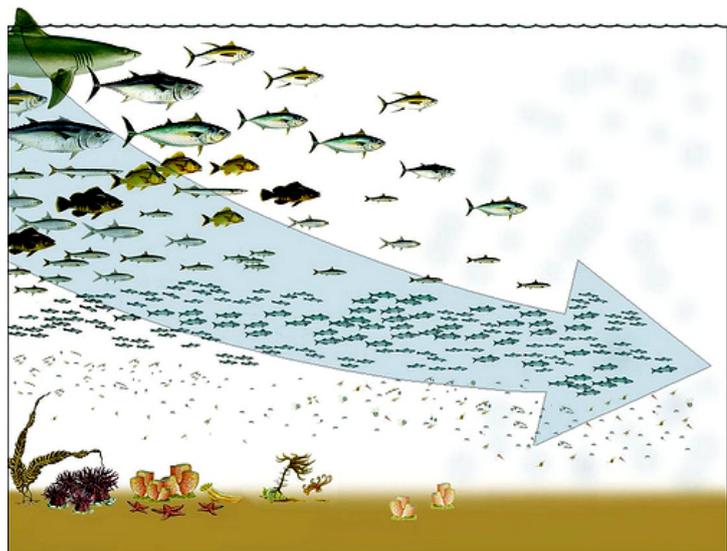
日時: 2010年12月7日(火)午後3時~4時30分

場所: 北大水産学講義棟大講義室(函館市港町3-1-1)



Daniel Pauly 先生 (<http://www.fisheries.ubc.ca/members/dpauly/>) は海洋生態学と水産学における世界的な権威です。先生が唱える”Fishing Down the Food Web”は海洋生態系に及ぼす漁業の影響として警告を発しています。最近、彼が Nature や Science に発表した論文集をまとめた書籍”5 Easy Pieces”はベストセラーとなっています。多数の学部学生および大学院生をはじめ、教員、市民の皆さん、奮ってご参加下さい。

Dr. Daniel Pauly is a Professor and Director of the Fisheries Centre at the University of British Columbia and Project Leader of the Sea Around Us Project. Some of his primary work involves documenting the effects of overfishing. He authored a book entitled In a Perfect Ocean. For working to protect the environment, he earned a place in the 2003 Scientific American 50 and the 2005 International Cosmos Prize.



(連絡先: [salmon@fish.hokudai.ac.jp](mailto:salmon@fish.hokudai.ac.jp), 内線: 5605)